

(6月18日) : 重要イベントを控え小動き

火曜日のベトナム株式で投資家たちは世界の経済、金融、貿易問題に関する重要イベントを前に、市場を静観しているようだった。

ホーチミン取引所のVN指数は0.31%下落し944.01ポイントで取引を終えた。

VN指数は月曜日に0.7%下落した。

市場心理はネガティブで、174銘柄が下落したのに対し112銘柄が上昇した。

流動性は平均的で1億6700万株が取り引きされ、出来高は3.87兆ドン（1億6640万株）であった。

VN30指数は0.57%下落し848.17ポイントで取引を終えた。

VN30指数の内、18銘柄が下落して取引を終えた。

この動きは投資家とアナリストは来るイベントでの良い結果を期待しているが、ベトナム市場への警戒感が高まっていることを示しているとMB証券は報じた。

火曜日に始まったFOMCでは今後利下げが行われ世界経済を後押しするのではないかとというシグナルを与えるのでは期待されている。

投資家とアナリストは今回は金利を変えないと予想しているとMB証券はデイリーレポートで報じた。

“FOMCの後には、世界市場は米中貿易摩擦、トランプ大統領の利下げ要求、弱い経済データなどの要因についてより明確な見通しを持つようになるだろう。

加えて、月末に日本で行われるG20サミットにも注目が集まっている。米中貿易摩擦に関して何らかの解決策が見つかるのではないかと期待を寄せているのはあるハノイの証券会社。

ベトナム株式市場では、銀行、石油エネルギー、小売り、建設資材などの市場を牽引する重要なセクターが上昇した。

しかしそれらのセクターの上昇では、ヘルスケア、薬品、ゴムプラ、食料品、水産加工、農業などのその他のセクターの下落の穴を埋めることはできなかった。

大型株には依然として売り圧力が強いが、国内投資家は前回安値である 938.95 ポイント付近に下落すると押し目買いを始めたようである。

株式市場は横ばいが続くと思われるが、流動性が低く、火曜日に見せた反発は単なる短期的なテクニカル的な反発に過ぎないと考えるとサイゴンハノイ証券は述べた。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.24% 上昇し 103.75 ポイントで取引を終えた。

同指数は月曜日にも 0.04% ほど上昇していた。

出来高は 2800 万株で、売買代金は 3200 億ドンであった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。